

3月定例山行 平日山行

3月6日(水) 古鷹山～クマン岳(江田島)

参加者 3名 CL 円山 祥子

松尾、木村(OB会員)

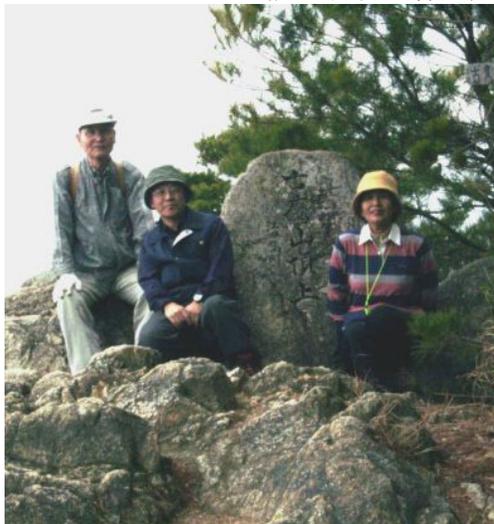
コースタイム

宇品港 9:00 → 9:25 小用 → 10:05 登山口 → 11:40 古鷹山(昼食) 12:40 → 14:05 クマン岳 → 15:35 切串 15:45 → 16:10 宇品港

○

参加者は3人、今日は木村さんのペースに合わせて登ることにして出発した。古鷹山に登り初めて桜の花が満開になっているのを見つけました。赤いアセビの花や白いアセビの花がたくさん咲いていました。登山道のそばにはいろいろな植物の芽吹きに春を感じました。古鷹山の頂上では風が強く、またクマン岳の登り口を間違えましたが切串までは楽しく歩くことができました。

(記 円山 祥子)



○

前日が雨だったためか、予定時間がきても待合室にはCLと二人きり。きょうはアベック登山かねと笑っていたら少し遅れて木村さん到着。三人で出発、ところが小用へは高速船しかない。料金が痛い。そのかわりわずか15分でついた。港から登山口

まで舗装道路を歩く。

登山道は、みかん畑の横を通る急坂である。登りきって尾根道に出たところに桜が一本見事に花をつけていた。風の音がすごい。瀬戸内の景色とアセビの花を見ながらゆっくりと登る。

白花に混じってピンクのアセビの花があった。登山道の脇のあちこちに海兵第〇〇期生記念植樹の桜の幼木がある。ほどなく古鷹山の鞍部に出る。ザックを置いて展望所へ登ってみたが、周りは木が茂ってほとんど眺望はない。早々に鞍部へ引き返し古鷹山頂上へ。392mの山頂は風が強い。少し早い昼食にする。

二人連れが別方向から登ってきたが、すぐに下りてしまい、頂上は我々3人の貸切となる。記念写真を撮り、クマン岳への縦走を開始する。登りの道と違って、こちらは道が整備されていなかった。

林道に下り立ったところですぐ右に行くべきところを左にいったため登山口がわからず30分ほど時間をロスした。

クマン岳へはいくつかのアップダウンを繰り返して無事頂上へついた。切串への道は藪がかぶっていてテープだよりに道をたどる。いよいよ切串の町が見えてから急坂を下りやっと港へついた。

なんと出航まで2分しかない。大急ぎで切符を買いようやく乗船。25分の船旅で宇品港についた。

(記 松尾 幸男)